

2025年 大阪・関西万博

「大阪パビリオン 展示・出展ゾーン」 に関する実施計画

主催：2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会
企画・運営：中小・スタートアップ出展企画推進委員会

 公営財団法人
大阪産業局
OSAKA BUSINESS DEVELOPMENT AGENCY

 The Osaka Chamber of Commerce and Industry
大阪商工会議所

※記載のスケジュールは当計画策定時における想定を記載したもので、予告なく変更されることがあります。

(2025年日本国際博覧会基本計画より)

■名称

2025年日本国際博覧会 / (略称「大阪・関西万博」)

■開催期間 2025年4月13日(日曜日)～ 10月13日(月曜日) 184日間

■開催場所 夢洲(大阪市臨海部)

■来場者数(想定) 約2,820万人



提供：2025年日本国際博覧会協会

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン “Designing Future Society for Our Lives”

コンセプト

-People's Living Lab- 未来社会の実験場

- 展示をみるだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。
- 万博開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ。
- 人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場に。



大阪パビリオンの出展場所(予定)

(2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画より)

【参考】2025年大阪・関西万博におけるパビリオン

- ①公式参加パビリオン
(世界各国の参加国や国際機関が設置)
- ②テーマ館 (博覧会協会が設置)
- ③日本館 (国が設置)
- ④自治体館 (地方自治体が設置) ※大阪パビリオン
- ⑤民間パビリオン (企業・団体が設置)



新駅「夢洲駅(仮称)」や、東側エントランス近くの好立地に設置予定。万博の成否にかかわる重要な位置を占めるパビリオン。自治体ゾーンは大阪パビリオンと関西広域連合パビリオンが出展予定であり、一体的な大阪・関西ゾーンを形成します。

(2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画より)

■ 出展参加でめざすもの

- ▶ オール大阪の知恵とアイデアを結集し、「いのち」や「健康」の観点から未来社会の新たな価値を創造するとともに、大阪の活力、魅力を世界の人々に伝えていく
- ▶ 世界の先頭にとってSDGsの達成に貢献するため、「SDGs先進都市」の姿を明確にし、SDGs達成目標の2030年以降を見据えた取組みを世界に発信する

世界に貢献する大阪の姿を示す

- ▷ 生活の質（QOL）を向上させる展示
- ▷ SDGs達成に貢献する姿を示す
- ▷ 未来社会のモデルを提案

大阪のパワーを世界に発信

- ▷ 世界中からのアクセスを実現
- ▷ 大阪の魅力を世界に発信

■ 出展参加の主体

～ 産学官民の力を結集と府民・市民の参画～

産業界・企業の力
(大企業・中小企業・経済団体など)

教育・研究機関の力
(大学・医療機関など)

自治体の力
(大阪府市、市町村)

府民・市民の力
(府民・市民・NPOなど)

■ 出展参加のテーマ

【テーマに込めた意味】

“「人」は生まれ変わる”

すべての「人」が自分らしい生き方を改めて見つめ直すことで 自分自身の価値観や生きがいの発見・再認識、自己実現への意欲・意識の変革を促し、新たな自分への「生まれ変わり」に貢献する取組みを展開する

“ 新たな一歩を踏み出す”

一人ひとりの意欲・意識の変革が具体的な行動変容へとつながり、より良い生活環境、暮らしやすい社会づくりに貢献し、「いのち輝く未来社会」に新たな一歩を踏み出すきっかけとなる

REBORN

(リボーン)

■大阪パビリオンのコンテンツ等の基本的考え方

- 出展参加テーマ「REBORN」のもと、「健康」という観点から、大阪の強みを活かして、ワクワクしながら明るい未来が感じられる展示や催事を実現
 - ◆最先端の医療技術やライフサイエンス産業が創り出す近未来への期待を高める
 - ◆食や文化、観光などによる交流を促進する場とする

■パビリオンの基本構成イメージ

メイン展示・体験ゾーン
『まち中のスキャンマシン』『都市移動用のモビリティ』
『ミライのフード体験』『ミライのヘルスケア体験』
『ミライの医療』

サービス・食体験・中小企業ゾーン
『ミライの大阪の食・文化』
『ミライに向けた中小企業・
スタートアップの技術・サービス』

イベント・交流ゾーン
『ミライのエンターテインメント
(イベント・催事)』



バーチャル上での展示体験・イベント展開

■レガシー

一時的イベントに終わらせることなくハード・ソフト両面でレガシーを残していくことを検討

2030年以降の『大阪の成長・経済発展』や『いのち輝く幸せな暮らし』の実現に向けて貢献

大阪パビリオン出展基本計画の推進体制

(2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画より)

■大阪パビリオンは推進委員会を組織し、展示等の検討する各ワーキングを設置。2022年度以降の推進体制は、状況に応じて検討。

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 (2021.2.16～)

- ◇会長 大阪府知事
- ◇会長代行 大阪市長
- ◇顧問 関西経済連合会会長 大阪商工会議所会頭 関西経済同友会代表幹事

総合プロデューサー
大阪大学 森下 竜一 教授

スーパーバイザー

- ◇公立大学法人大阪 西澤 良記 理事長
- ◇大阪府立大学 橋爪 紳也 教授
- ◇つんく♂氏
- ◇国立循環器病研究センター 大津 欣也 理事長
- ◇大阪府立病院機構 遠山 正彌 理事長
- ◇(株)日本総合研究所 東 博暢 氏
- ◇(公財)大阪産業局 藤田 正樹 理事
- ◇(公財)大阪観光局 溝畑 宏 理事長

WGの運営

ヘルスケア 先端予防ドック	未来の病院 先端医療展示	食・レストラン	バーチャル・ バーチャル大阪パビリオン	プラットフォーム データ基盤	デジタル通貨	建 築	イベント・催事	展示・出展ゾーン
ディレクター 近畿大学 山田 秀和 教授	ディレクター 大阪大学 富田 哲也 准教授	ディレクター 大阪府立大学 増田 昇 名誉教授	ディレクター 大阪大学 佐久間 洋司 氏	—	—	受託事業者を 中心に 企画立案	受託事業者を 中心に 企画立案	大阪産業局・ 大阪商工会議所を 中心に 中小企業や スタートアップ企業 の展示・出展を 取りまとめ
アドバイザー	アドバイザー	アドバイザー	アドバイザー	アドバイザー	アドバイザー			
委員会参画企業	委員会参画企業	委員会参画企業	委員会参画企業	委員会参画企業	委員会参画企業			

※エキスパートを置いて、SDGs・建築の観点から専門的なアドバイスをいただく。

中小・スタートアップ「展示・出展ゾーン」の概要

(2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画より)

万博に向けて新技術開発などに取り組む、優れた大阪の中小企業・スタートアップを発掘・支援し、その象徴的な成果、活躍を効果的に発信する。万博の会期中だけでなく、準備期間や開催後も視野に入れた一連の取組を通じて、更なる大阪の中小企業・スタートアップの成長・発展、イノベーションの好循環に繋げるとともに、未来社会への提案を行っていく。

展示イメージ

■展示・出展ゾーン



万博開催を契機として、優れた中小企業・スタートアップ企業の象徴的な成果、活躍を効果的に発信することで、大阪の中小企業・スタートアップ企業の魅力を国内外からの来場者に向けPRする



「中小・スタートアップ」展示・出展ゾーン」の推進体制

(報道資料「大阪パビリオンにおける中小企業・スタートアップの展示への協力について」より)

2025年大阪・関西万博における大阪パビリオンの「展示・出展ゾーン」は、中小企業・スタートアップの技術力、魅力を発信する場として、大阪産業局と大阪商工会議所が、共同で企画・運営を担う。

両団体では、「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」(委員長:立野純三・大阪産業局理事長、大阪商工会議所副会頭)を設置し、大阪府、大阪市とも協力して検討を進める。

両団体では、優れた中小企業・スタートアップを発掘・支援し、大阪パビリオンでその象徴的な成果、活躍を効果的に発信できるように、万博の会期中だけでなく、準備期間や開催後も視野に入れた取り組みを企画・推進する。

「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」

設置目的

万博開催を契機として、大阪産業局と大阪商工会議所が共同して、その期間の前と後、バーチャルとリアル、会場の内と外を問わず、優れた中小企業・スタートアップを発掘・支援しつつ、大阪パビリオンにおいては、その象徴的な成果、活躍を効果的に発信する取り組みを企画・推進すること。

委員構成

【委員長】 大阪商工会議所副会頭、大阪産業局理事長
【副委員長】 大阪産業局 専務理事
大阪商工会議所 常務理事・事務局長
【委員】 大阪府商工労働部商工労働総務課 参事
大阪市経済戦略局企業支援課長

委員会内WG

「展示・出展ゾーン」の企画・運営に関すること等の円滑な遂行を図るため、委員会にWG(部会)を設置する。
WGの構成員は大阪産業局、大阪商工会議所の職員で構成する。

中小・スタートアップ「展示・出展ゾーン」募集概要

募集対象

原則、大阪府内に活動拠点を有し、中小企業・スタートアップ等の支援が実施可能な金融機関または公的な企業・団体

募集内容

■事業企画案

地元資源・リソースを未来へとつなげ、SDGsの取り組みや大阪の強力な魅力発信を目的として大阪パビリオンへの参加をめざす優れた中小企業・スタートアップ等を支援する事業企画案を募集する。

募集する事業企画案の主な要件は以下のとおり。

- ①「2025年大阪・関西万博 出展参加基本構想」及び「大阪パビリオン出展基本計画」に沿った企画であること。
- ②「展示・出展ゾーン」に参加をめざす大阪の中小企業・スタートアップ等への支援事業であること。

※その他要件等の詳細は令和4(2022)年5月9日(月)公表の募集要項を参照のこと。

※応募のあった事業企画案は、審査のうえ「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」が「リボンチャレンジ」として認定。

■スポンサー(協賛)

大阪パビリオン「展示・出展ゾーン」やリボンチャレンジへの協賛を「スポンサー」として随時募集する。

- ・リボンチャレンジの事業実施主体が営利企業・団体の場合、「展示・出展ゾーン」への協賛金負担が必要。
- ・リボンチャレンジ実施中であっても、出展社数や事業の進捗状況などにより、「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」が参加をお断りする場合がある。
- ・各リボンチャレンジを経て出展する中小企業・スタートアップ等には、一定の参加料負担を求める予定。また、リボンチャレンジの事業実施主体は、出展する中小企業・スタートアップ等の参加料の取りまとめ等も行う。

その他

主なスケジュール

令和4(2022)年5月 9日(月) 募集開始
令和4(2022)年5月18日(水) 募集説明会
令和4(2022)年8月31日(水) 応募締切り
令和4(2022)年10月31日(予定) 審査結果通知、認定事業の決定

【事業企画案の募集スキーム】 ※今回の募集対象

【事業企画案の認定後のスキーム】

中小・スタートアップ
出展企画推進委員会

①応募

②認定

金融機関または
公的な企業・団体

③募集

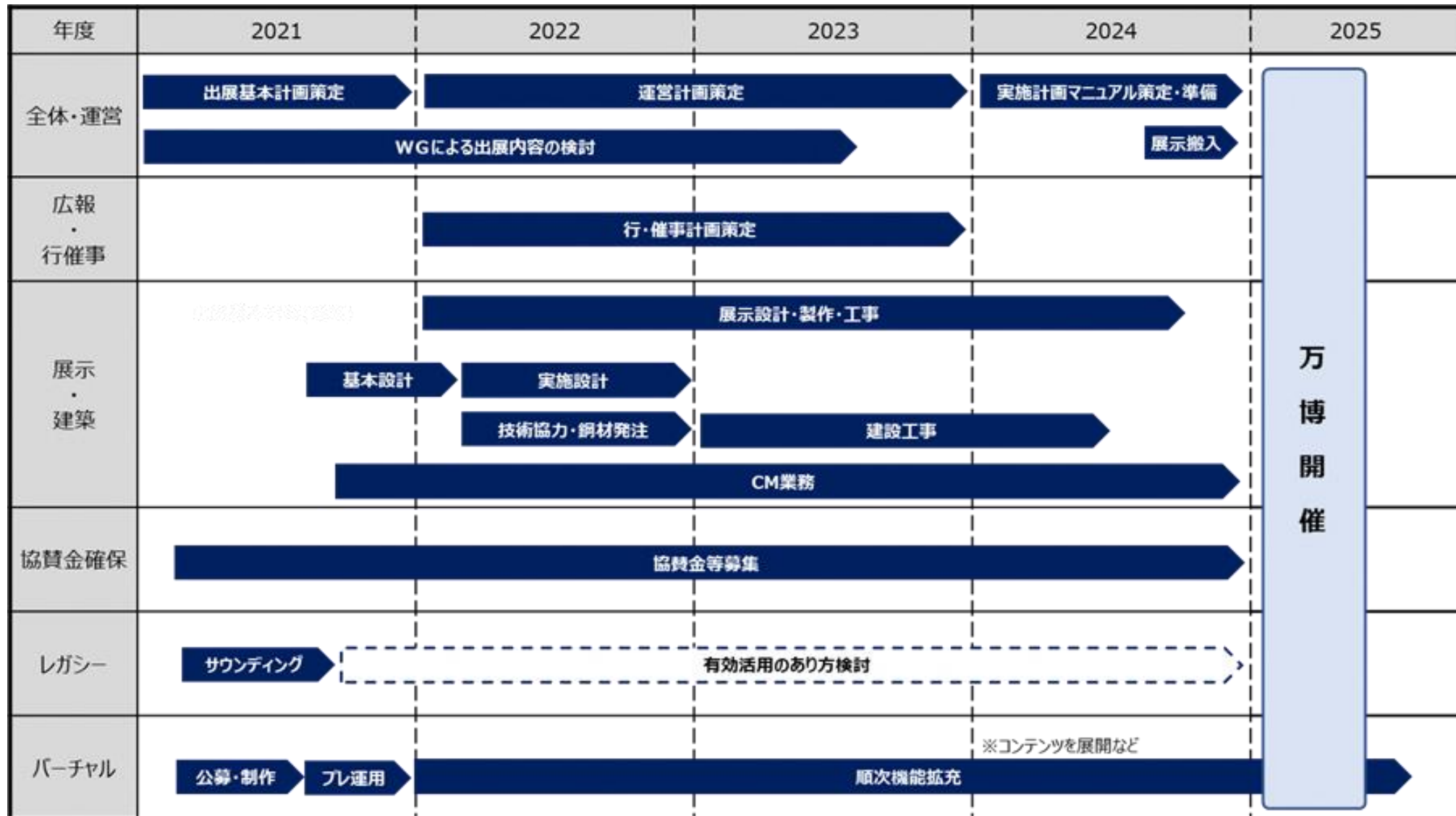
④事業参加

万博参加をめざす
中小企業・
スタートアップ等

大阪パビリオンの全体スケジュール

(2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画より)

- 大阪パビリオンは2022年3月までに「出展基本計画」を策定し、2022年4月より実施に向けた設計・製作及び運営計画を進めていく
- 建築は、2023年4月の工事着工、2024年10月の竣工をめざす





中小・スタートアップ「展示・出展ゾーン」のスケジュール

事業企画案募集

・事業企画案の募集
(期間：2022年5月9日～8月31日)

基本計画策定

・大阪パビリオン
出展基本計画の公表
(2022年3月24日)

事業企画案認定

・「リボンチャレンジ」の認定
(2022年10月31日予定)

出展企業選抜開始

・各種リボンチャレンジ
で出展企業の選抜を開始

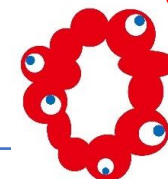
発展・成長

・中小・スタートアップ企業の
成長・発展
・イノベーションの創出

展示・出展

・リボンチャレンジの出展

Beyond
2025



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO
2025

2021

2022

2023

2024

企画案募集

リボンチャレンジによる企業支援・磨き上げ

・出展企業の展示支援・磨き上げ

運営計画

設置計画

・展示・出展ゾーンの
運営手法等計画の検討開始
・運営協力事業者等の
募集に向けた準備

・展示・出展ゾーン設営図案等の決定
・具体的な運営スケジュールの公表
・設営工事・開催準備等